

4 令和7年度 生涯学習課概要及び重点目標

(1) 生涯学習課・中央公民館

ア 概要

地域住民・民間組織・行政等の「多様な主体」が、お互いを尊重しながら学び合い、「自分たちの地域は自分たちで創る」という自治意識を育んでいくため、地域課題を解決するための場づくりや幅広い世代・立場の住民の主体的な地域参画、住民ニーズを反映した事業の推進などに取り組みます。

イ 重点目標の内容

(ア) コミュニティ・スクール事業の質の向上

地域・保護者・学校等が子どもや地域に対する願いや思いを共有し、連携・協働する「コミュニティ・スクール事業」を推進します。また、学校の負担軽減、関係者の連携強化、事業内容の充実をさらに進めるため、国型制度のコミュニティ・スクール導入校の他地域への横展開を検討します。

(イ) 子ども・若者に身近な公民館の推進

子ども・若者が、公民館をより身近に感じ、公民館や地域との顔の見える関係を構築していくため、放課後や休日に自由に集える居場所づくりを進めます。また、多様な人々との交流を通じて主体的に学んでいくため、ニーズを反映したイベントや学習の場を、子ども・若者との協働により企画します。

(ウ) 公民館活動への多様な住民参加

様々な考え方を持った多様な人や団体が、学びや地域づくりの場として公民館を活用するために、義務感や負担感でなく、やりがいや楽しみを感じながら事業を進めるよう、公民館活動の内容や手法を見直します。また、多様な学びを支え、誰もがデジタル社会で活躍できる社会へつなげるために、インターネットを活用した情報発信やＩＣＴの活用支援を進めます。

(エ) 池上百竹亭の在り方検討

日本の伝統を伝える和室や茶室を有し、松本城近傍の立地条件から観光施設としての需要も見込まれる池上百竹亭について、観光施設等の生涯学習施設以外の用途での活用を検討します。

(オ) あがたの森文化会館運営体制の見直し

あがたの森文化会館として活用している重要文化財旧松本高等学校本館及び講堂を適切管理していくための体制を見直します。併せて、生涯学習施設としてのあがたの森文化会館の管理運営業務に指定管理者制度を導入することを検討します。